



意思決定支援

目標：✓療養に関する希望や医療に関する話し合いの充実 ✓患者・家族のQOL向上

プログラム開発・効果検証

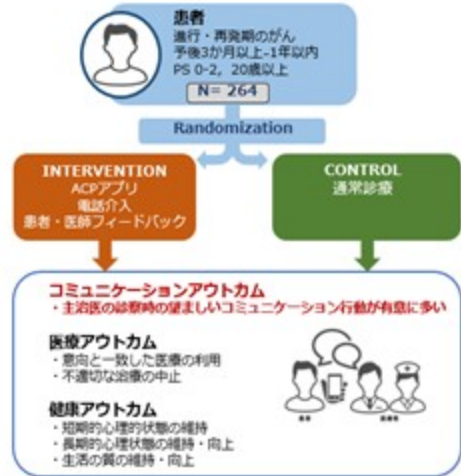
進行がん患者に対するACPアプリによる
質問支援を用いた意思決定支援プログラム

課題

- ✓ ACPは国策だが、患者・医療者ともに心理的負担を懸念し、話し合いが先延ばしになる
- ✓ 標準治療後に意向に即した療養を受けられない
- ✓ ACP介入は患者の個別性が高く人的、時間的資源が必要であり、全患者が介入を受けられない
- ✓ 臨床実装可能なACP介入が世界的に求められている

展望

- ✓ 有効性が実証された介入法を臨床実装することで患者は最適な療養を可能にし、QOLが向上する



Obama et al. BMJ Open, 2023; Obama et al., ASCO, 2024

普及・実装



臨床疑問
患者・医療者間の対話促進
#1 質問促進リスト (強い推奨・強いEvidence)
#2 意思決定ガイド (早期がんに強い推奨・強いE)
医療者対象コミュ技術研修
#3 医師対象 (弱い推奨・中程度E)
#4 看護師対象 (弱い推奨・中程度E)

課題

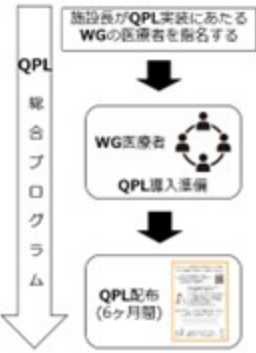
- ✓ 質問促進リストは、エビデンス強、強く推奨されたが、普及実装は進んでいない

質問促進リスト (QPL) を用いた意思決定支援：実装研究

QPL実装単施設観察研究

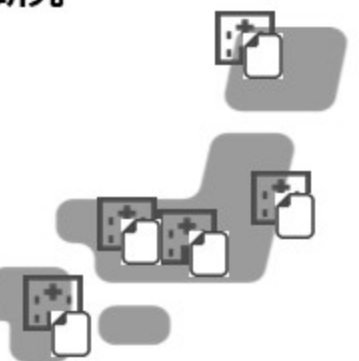
参加施設：
九州がんセンター
方法：QPL総合プログラム

【主要評価項目】
QPL導入6ヶ月後におけるWG医療者の行動目標の遵守度



QPL実装多施設観察研究

参加施設
函館五稜郭病院
水戸済生会総合病院
近畿中央呼吸器センター
岡山大学病院
岡山済生会総合病院
くまもと森都総合病院



ACP アプリ：臨床試験 (治験)